



**作品名** 長久手合戦図屏風  
**作者** 加藤 厚 KATO Atsushi  
**寸法** 170(縦)×243(横) cm  
**展示場所** 役場西庁舎

■作家歴

日本美術院 院友 名古屋本丸御殿修復模写従事  
 現在 愛知県立芸術大学日本画非常勤講師

■コメント

この作品は学生の時に描いたもので、長久手の南から北を見、合戦のいろいろな様子を描いたものです。当時はまだ血の池もあり、仏ヶ根の森の奥に行くと、竹やぶから落ち武者が出てきそうな、少し怖い思いもしました。



**作品名** メキシコの印象 (花売り)  
**作者** 伊藤 高義 ITO Takayoshi  
**寸法** 164(縦)×130(横) cm  
**展示場所** 長久手町役場庁舎

■作家歴

1926長久手町生まれ  
 メキシコ国立芸術院招待で「私のメキシコ」展開催  
 メキシコ水彩画美術館 国際水彩画ビエンナーレ招待出品  
 現在 二科会評議員 水彩協会代表委員

■コメント

初めてのメキシコ旅行の印象を描いたものです。市場に集まる人々の力強い生命感と、白い色に輝く教会造形美が私の心を魅了しました。この作品を含めて、二科展に100号サイズの作品を5点出品して、二科会友に推荐されました。私にとっては記念的な作品の一つです。



**作品名** 虹  
**寸法** 100(縦)×230(横) cm  
**展示場所** 長久手町立長久手中学校



**作品名** 虹 (壁画)  
**寸法** 250(縦)×500(横) cm  
**展示場所** 長久手町立長久手中学校

■コメント

壁面をしつこい仕上げにしてもらい、私の師北川民治直伝のエッグテンペラの技法で描いた壁画です。この絵には、中学生の学ぶ姿、科学や芸術、体育が若者の未来の「虹」の架け橋になる、という思いを盛りこみました。絵中央に理想を指差す校長先生、持っている本には校訓が書いてあります。絵右下部には生徒たちの苦悩の姿、人物後方にある多くの手は希求する姿の象徴です。メキシコルネッサンスの壁画運動から、私は人々にその建物の理想を描くものだという考えを学び、初めて壁画に取り組みました。

なお、「虹」という絵はこの壁画の下絵です。